

## 会 告

### 会費値上げについて

本会では過去二年間、会費を三、三〇〇円に据置き、諸経費を節減し、會員の皆様に負担のからぬよう努力してまいりましたが、出版事情の悪化によって雑誌の一冊当り単価が高騰し、予想される郵送料の値上げとともに会費が大きく圧迫を受け、このままでは史林刊行に支障をきたすにいたりました。このため、やむなく昭和五十一年度より、年間会費を四、〇八〇円（一冊当り六八〇円、非會員一部売り七五〇円）に改定することにいたしました。

不本意ながら、會員の皆様のご諒承を頂きますようお願い申し上げます。なお、会費は前納制になっております。本会の活動はすべて会費に依存しておりますので、どうか前納に御協力頂きますようお願いいたします。

昭和五十年十二月一日  
史学研究会

### 『史林』投稿規定

本誌の投稿規定は次の通りです

◇資格 本会會員であること

◇投稿受付原稿の種類、長さなど、

◇研究論文・研究ノート

四〇〇字詰五〇枚程度

研究論文には四〇〇字以内の「要約」

と、「英文要約」を添付のこと（研究

ノートには両方とも不用）

註は原則として各章末に入れること。

◇学会動向・批判と反省

四〇〇字詰三〇枚以内

◇書評 四〇〇字詰二〇枚以内

◇紹介 四〇〇字詰三枚程度

◇送先 史林編集委員会

〒六〇六 京都市左京区吉田本町

京都大学文学部内

### 編 集 後 記

窓から眺める北山の雪の消える間もない、殊の外寒さ厳しいこの冬ですが、會員の皆様にはお元気で御活躍のことと存じます。

扱て、『史林』五十九巻一号が出来上がりました。昨年、本誌の発刊ベースは期日

刊行に向かつて急進したのですが、本号は、当編集子初めての担当号であることや、年末年始と重なる等の事情で若干のペースダウンを余儀なくされました。この点を深くお詫びいたします。今後とも定期刊行を目指して努力を続ける所存です。

尚、上記会告のとおり、この度の大巾な郵便料金値上げや、出版諸経費高騰のため、本号分以降の会費改定の止むなきに至りました。事情御賢察の上、御諒承下さるようお願い申し上げます。

(杉)

史 林 (第五九巻第一号)

一九七五年十二月二十五日印刷  
一九七六年一月一日発行 定価七五〇円

発行人 史 学 研 究 会

京都市左京区吉田本町  
京都大学文学部

理事長 今 津 晃

印刷所

京都市下京区七条御所ノ内中町五〇  
中村印刷株式会社